

令和7年度 保健所の主な取り組み状況について

令和8年1月23日 仙台市地域保健・保健所運営協議会

仙台市保健所

目次

- 1 感染症対応に係る人材育成 ……P2
- 2 新興感染症に備える保健所体制の整備……P3
- 3 予防接種……P4
- 4 エイズ・性感染症対策……P5
- 5 結核・その他感染症対策……P6
- 6 医務・薬務……P7
- 7 食品の安全性確保……P8

1 感染症対応に係る人材育成

(1) 計画的な研修・訓練の実施等

① 庁内外との連携による訓練の実施

- ・保健所・衛生研究所・市立病院が連携し、新興感染症の発生を想定した初動対応訓練等を実施
- ・東北大学・東北医科薬科大学との共催による、アウトブレイク発生を想定した市内医療機関との合同机上訓練を実施(1月27日予定)

◆初動対応訓練等

② 新興感染症発生時における保健所対応マニュアルの更新

- ・有事における保健所対応の更なる具体化を目的に、「新興感染症発生時における保健所対応マニュアル」(令和5年度策定)を庁内関係職員で構成する検討部会(全3回)を通じて更新予定



(2) 感染症対策分野の人材育成ガイドラインの策定等

- ・感染症対策分野の職員に求められる能力や研修訓練体制、人材育成の方針を整理し、見える化するため、「仙台市感染症対策分野人材育成ガイドライン(仮)」及び「研修訓練プログラム」を年度内に策定予定
- ・その一環としての、eラーニング研修資料の作成、感染症危機管理リーダーシップ研修(国主催)への職員派遣

令和8年度 取り組みの方向性

策定した「人材育成ガイドライン」に基づき、体系的な研修・訓練を通じて、新興感染症を含む各種感染症への対応力向上を図る。

2 新興感染症に備える保健所体制の整備

(1) IHEAT要員の確保、民間事業者との連携協定

① IHEAT要員登録の促進および研修の実施

- ・東北大学と連携したIHEAT要員登録促進【登録者数 42人(令和7年11月30日時点)】
- ・宮城県との共催による同要員への研修を実施

② 民間事業者との連携協定

- ・令和6年度に連携協定を締結した医療系人材派遣会社との定期的な意見交換会等の実施
- ・運送事業者(2社)との検体搬送体制確保に関する協定の締結

(2) DX推進による保健所業務の効率化

- ・新型コロナ対応での経験を踏まえ、「患者情報の一元管理」を目的に構築したシステム「せんだいcare+」の健康観察機能等の拡充
- ・市医師会の協力のもと、各種感染症の届出について、「感染症サーベイランスシステム」の利用促進に向けた勧奨を実施【登録件数 308件(令和7年11月30日時点)】

◆ せんだいcare+の画面イメージ

The screenshot shows a web-based form interface for 'せんだいcare+'. At the top, there are navigation tabs: '患者基礎情報', '基礎疾患・臨床経過', '病院・施設情報', '行政検査等調整', '検査結果', and '疫学'. The main content area is titled '1 調査方法' (1. Investigation Method). It contains several input fields and radio buttons. Fields include '1.1 探知日' (discovery date), '1.2 調査日時*' (investigation date and time) with values '2025-07-08' and '18:23', and '1.3 調査方法*' (investigation method) with radio buttons for '電話' (phone), '面接' (interview), and 'その他' (other). There is also a '1.4 調査_その他詳細' (investigation other details) field. Below these are checkboxes for '調査票 原本格納' (original form storage), 'ダブルチェック確認' (double check confirmation), 'ダブルチェック' (double check), and '確認者氏名' (confirmer name). A '調査票を直接提出' (submit form directly) button is visible on the right. At the bottom left, there is a '印刷' (print) button with '(最大1 GB)' and a '確認した' (checked) checkbox.

令和8年度 取り組みの方向性

新興感染症発生に備え、IHEAT要員や民間事業者との連携を強化するとともに、「せんだいcare+」の機能改善等により、保健所対応の更なる効率化を図る。

3 予防接種

(1) 带状疱疹ワクチンの定期接種(令和7年4月より開始)

【実施概要】

- ・対象となる 65歳の方(HIVによる免疫機能の障害を有する60～64歳の方を含む)及び経過措置対象者(約6万人)へ個別通知によりお知らせ

【令和7年度接種実績(令和7年11月30日時点)】

生ワクチン:2,977件 不活化ワクチン: 14,594件

(2) HPVワクチン(子宮頸がん予防)接種勧奨

- ・「HPVワクチンキャッチアップ接種」の経過措置が令和8年3月で終了するため、対象者が期限内に接種完了できるよう、接種未完了の対象者に対し、個別通知(R7.11月)やデジタルサイネージを活用した注意喚起を実施

(3) 各種申請手続のオンライン化

- ・市民の利便性向上のため、各種手続のオンライン化を実施
 - ①高齢者予防接種(新型コロナ・インフルエンザ)に関する自己負担免除申請
 - ②県外定期予防接種に関する各種手続

◆ 自己負担金免除申請状況

申請区分	令和7年度 (11月30日時点)	令和6年度 (年間総数)
電子申請	5,180件	3,464件
紙申請	1,536件	3,639件
計	6,716件	7,103件

令和8年度 取り組みの方向性

新たに定期接種化されるRSウイルスワクチン、ワクチンの追加や変更が予定される、高齢者インフルエンザワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の接種について、仙台市医師会と連携し、適切に実施する。

4 エイズ・性感染症対策

(1) 検査実施(令和7年11月30日時点)

- ① 平日日中検査(各区役所)
203件実施(HIV陽性1件、梅毒陽性7件)
- ② 夜間休日検査(AER)
581件実施(HIV陽性0件、梅毒陽性19件)
- ③ イベント検査
 - ・HIV検査普及週間(6月7日):47件(梅毒陽性3件)
 - ・男性限定検査(10月18日): 23件(梅毒陽性1件)
 - ・世界エイズデー(11月22日): 45件(梅毒陽性3件)

◆普及啓発資材



- ④ 医療機関検査事業
491件実施
(梅毒陽性9件、クラミジア陽性 52件)

(2) 相談対応(令和7年11月30日時点)

- ・検査会場や電話相談等において、66件の相談対応を実施

(3) 普及啓発

- ・HIV検査普及週間(6月1日～7日)や世界エイズデー(12月1日)の主旨を踏まえたポスター掲示や、啓発グッズの配布等、エイズ・性感染症に係る正しい知識の普及啓発を実施

(4) 検査に関するデジタル化

- ・検査申し込みフォーム改善による市民利便性の向上、OCR導入による検査関連事務の効率化

令和8年度 取り組みの方向性

近年の梅毒の増加や、エイズおよび性感染症に関する特定感染症予防指針の改正内容を踏まえ、HIV・性感染症の啓発強化を図るとともに、検査体制の拡充を検討する。

5 結核・その他感染症対策

(1) 結核対策

① 患者への支援等

- ・医療機関等と連携し、結核患者等86名（活動性結核患者：51名、潜在性結核患者：35名）について支援等を実施（令和7年11月30日時点）

② 定期健康診断

対象	受検者数	備考
65歳以上の市民	47,148名	令和7年10月31日時点
日本語学校の生徒	822名	令和7年7月31日時点
ホームレス	50名	令和7年10月31日時点

◆結核に係る保健講話の様子



(2) 仙台市感染制御地域支援チームとの連携

- ・新型コロナウイルス感染症対応のために立ち上げ、令和6年度より同チームを常設化
令和7年度は侵襲性髄膜炎菌感染症や類鼻疽が発生した際に、web会議の開催等を通じ同チームに情報共有、連携の上、迅速に対応した

(3) 感染症集団感染事例発生施設からの報告のオンライン化

- ・インフルエンザ等の集団感染事例が発生した施設から保健所への報告手段をオンライン化することで、感染症発生時における発生施設および保健所の対応を効率化

令和8年度 取り組みの方向性

インバウンドの推進等を踏まえ、国内はもとより海外の感染症の発生動向を注視し、市民に向けた注意啓発や、感染症発生時のまん延防止などの感染症対策を推進する。

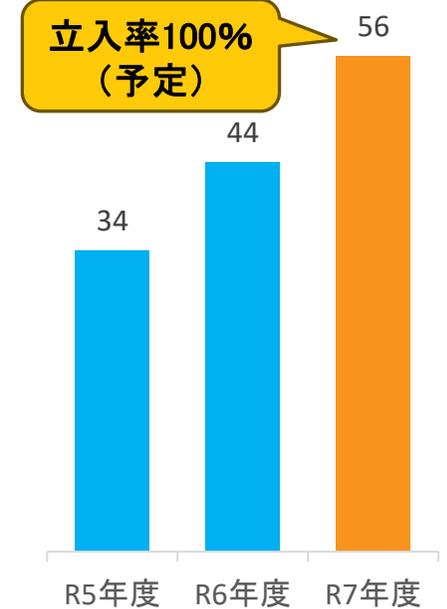
6 医務・薬務

(1) 病院、薬局等への監視指導等

立入施設	令和6年度 (同月日時点)	令和7年度 (11月30日時点)
病院	29病院	40病院
診療所	91施設	155施設
薬局	185施設	164施設

年度内に、市内全56病院に対し、立入調査を実施予定

◆ 病院立入件数の推移



(2) 乱用のおそれのある医薬品の適正販売に関する研修会の開催

- ① 医薬品店舗販売業者に係る研修会 【参加者数： 72 名】
- ② 仙台市薬事研修会※ 【参加者数： 124 名】

※年度内にオンデマンドによる開催も予定

(3) 薬物乱用防止に向けた取り組み

- ① 区民まつり等の市内8つのイベントにおいて、薬物乱用防止に関する啓発物の配布
- ② 薬局等への立入検査及び各研修会において、医薬品の適正販売を助言・指導
- ③ 市内大学及び専門学校等の学生に向けて、Eメール等を活用し、啓発等を実施

令和8年度 取り組みの方向性

- ・病院、薬局等への立入検査は、重点的に監視する項目を定め、効率的かつ効果的に実施する。
- ・若者による市販薬の過剰摂取を防ぐため、不安や悩みに対応した相談窓口の周知を強化する。

7 食品の安全性確保

(1) 事業者に対するHACCPの導入支援・監視および食中毒防止対策の強化

① HACCPに沿った衛生管理実施状況の確認及び指導 ◆ HACCP導入率の推移【令和7年11月30日時点】

② 事業者向け講習会の開催

③ 事業者向け動画コンテンツの周知チラシの配布
 ・従業員教育等で活用いただけるよう、監視時や各区衛生課窓口等で、啓発資料を配布

④ 生や加熱不足の食肉提供施設に対する指導
 ・加熱条件の検証指導や、実態調査結果を踏まえたリーフレットの配布

HACCP導入の確認状況	R7年度	R6年度	R5年度	R4年度
導入状況確認施設数(件)	12,778	11,111	9,355	7,148
導入済み施設数(件)	9,273	7,345	5,538	3,679
導入率(%)	72.6	66.1	59.2	51.5

(2) 若い世代を主なターゲットとしたリスクコミュニケーションの推進

- ・映画館の上映前広告を活用し、食肉のハイリスクメニューのスライド動画を配信
- ・保育園児を対象とした手洗い実習を実施
- ・大規模商業施設にて食中毒啓発のイベントを開催

◆ 映画上映前広告



◆ 食中毒啓発イベント



令和8年度 取り組みの方向性

個々の事業者の状況に応じた指導・支援および市民の目に留まる食中毒予防啓発を工夫しながら実施する。